

郷土関係 逐次刊行物 文献目録

その
111

〔注〕

○岐阜県図書館で受入れ、保管して
いる逐次刊行物のうち、郷土に関
係のある主要なものを採録した。

○収録は平成27年4月～平成28年3
月までに岐阜県図書館で受け入れ
たもの、および一部題及分を含む。
○記載の順序は、標題・執筆者・掲
載誌（紙）名・巻号（発行年）・
掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷
土資料分類表」（日本十進分類表
に準拠）による。

総記・宗教

- 楼門前の神橋 寛真理子 伊奈波さん
27 (16・07) P 12—13
徳川家康朱印状と東照宮 寛真理子
伊奈波さん 28 (17・01) P 10—11
鵜沼羽場町の津島神社について 横山
住雄 美文会報 523 (14・09) P 1
—2
瑞甲山乙津寺（鏡島弘法）梅園高秀
濃飛の文化財 55 (16・03) P 11—
15

史料紹介 各務原の亡失鐘の銘と補
足 横山住雄 美文会報 521 (14・
07) P 3—8

少林寺の恵雲宗智について 横山住雄
美文会報 525 (14・11) P 6

鵜沼 日乃出不動尊の歩み 横山住雄
美文会報 533 (15・08) P 1—3

長瀧寺鳩居峯のこと 高橋教雄 郡上
史談 150 (16・10) P 1—9

龍雲山臨川寺について 横山住雄 美
文会報 536 (15・11) P 1

御嵩町史に掲載されなかった寺院調
査 安藤弘文 美文会報 524 (14・10)
P 1—6

願興寺鐘樓門 檜皮屋根葺替工事にあ
たって 鈴木富雄 美文会報 530
(15・05) P 1—3

御嵩町古屋敷・華嶽山吉祥寺につい
て 横山住雄 美文会報 534 (15・
09) P 5—6

河北山洞興寺 鈴木富雄 美文会報
539 (16・03) P 1—2

願興寺鐘樓門の檜皮屋根葺替工事完
工にあたって 願興寺の概略と小楼
門・梵鐘の歴史について 鈴木富雄
濃飛の文化財 55 (16・03) P 7

—10
専念寺の由緒と石徹白の関係につい
て 藤村克良 郡上史談 149 (16・
06) P 1—4

近世飛騨の修学僧に関する基礎的考察
—西本願寺派学林の事例から— 梶
井一暁 斐太紀 15 (16・10) P 135
—149

『執持鈔』と願智坊永承の時代 —

十四世紀前半の本願寺寛如坊宗昭と
の関係 — 二反田實 飛騨の中世
7 (16・08) P 32—54

天文前期の仁沢宗禎と大縣神社・定福
寺 横山住雄 美文会報 519 (14・
04) P 1—6

中世・飛騨の牧氏・塩屋氏と泰秀宗禎
について 横山住雄 美文会報 529
(15・04) P 5—8

多治見永保寺の中世開山元翁の丹波恵
日寺について 横山住雄 美文会報
532 (15・07) P 9—10

般若坊鉄船について 横山住雄 美文
会報 538 (16・03) P 3—6

戦国末期、高原郷で生きた禅僧 喝山
和尚と『軍書』から考える 都竹清
隆 飛騨の中世 7 (16・08) P 69
—74

歴史・地理

海津市歴史民俗資料館と養老山地の刻
紋 沢田伊一郎 どうかいし 112
(16・08) P 4—10

古墳時代後期の環頭柄頭 三山らさ
博物館だより 93 (16・07) P 6—
7

川合と川合次郎兵衛塚 土田晃司 美
文会報 527 (15・02) P 1—2

久々利銅鐸について 横山住雄 美文
会報 527 (15・02) P 3—6

縄文遺物の表面採集 岩田修 斐太紀
15 (16・10) P 284—289
飛騨市神岡町殿字坂口における中世遺
跡について 三好清超 飛騨の中世
7 (16・08) P 18—23

史跡屋飯大塚古墳の整備とその活用
—長澤均 濃飛の文化財 55 (16・
03) P 78—84

下呂石の利用 濃尾平野の資料を中心
に 長屋幸二 会報「岐阜県高等学
校教育研究会公民・地歴部会」 55
(16・03) P 26—30

白峰旬氏による高橋説検証への意見
—小早川秀秋「手返し」のタイミン
グを再考する 高橋陽介 城 222
(16・10) P 21—33

古代の英雄ヤマトタケルの足跡 — 西
美濃の動行を中心に — 竹田繁良
美濃の文化 135 (16・10) P 3—5

犬山城主織田信清の永禄四年の動向に
ついて 横山住雄 美文会報 522
(14・08) P 7—8

義龍四奉行の改姓問題 横山住雄 美
文会報 523 (14・09) P 8

大沢次郎左衛門と鵜沼城 横山住雄
美文会報 538 (16・02) P 1—6

中世「蘇原荘」の相博（交換）につい
て 横山住雄 美文会報 526 (15・
01) P 7—8

凌霜隊と凌霜塾運動（2） 佐藤光一
郡上史談 149 (16・06) P 5—9

「封建最後の年 郡上藩当世事情」
（『郡上藩會計属吏日記』より）
森永正文 郡上史談 150 (16・10)
P 9—12

羽生用水・滝田大山水の水争い
KISSO 99 (16・07) P 3—4
加治田城の攻防に関する新史料 横山
住雄 美文会報 519—2 (14・05)
P 5—6

- ある高札のものがたり 「八百津町
山田家」横山良彦 美文会報 526
(15・01) P 1—6
《史料紹介》田中大秀『飛騨雜記』
堀祥岳 飛騨の中世 7 (16・08)
P 24—31
最近におけるDNA人類学の目を見張
る発展と私たち飛騨びとのルーツと
の関連 その1 住斉 斐太紀 15
(16・10) P 269—283
寿永、飛騨の大難を告発する 菅田一
衛 斐太紀 15 (16・10) P 265—268
中世小八賀郷東部の城跡を探索 田口
勝 斐太紀 15 (16・10) P 247—255
中世の高山盆地と川上荘 福井重治
飛騨の中世 7 (16・08) P 1—17
小八賀郷尾崎城 —南北朝、戦国末期
の江馬氏を考える— 都竹清隆 飛
騨の中世 7 (16・08) P 55—61
飛騨の城館について —十四世紀を画
期とする戦国初頭の城館を探索—
田口勝 飛騨の中世 7 (16・08)
P 62—68
飛騨中世史研究私論(5) 二反田實
飛騨の中世 7 (16・08) P 98—111
「天正十三年 金森氏の飛騨侵攻ル
ト」に関する一考察 2 長瀬公昭
斐太紀 15 (16・10) P 184—203
城下町からみた金森長近の飛騨支配
船渡忠幸 濃飛の文化財 55 (16・
03) P 46—50
高原郷における金森左京家領三千石
の領域 堀祥岳 斐太紀 15 (16・
10) P 162—172
天領飛騨の民衆と政治 尾崎啓介 斐
太紀 15 (16・10) P 150—161
大鐘寺の万霊塔 —明和・安永騒動犠
牲者全員の供養塔— 代情岑郎 濃
飛の文化財 55 (16・03) P 50—54
飛騨と外国人 —日本アジア協会、田
中大秀と竹取物語、地震・氷河の研
究、白川郷合掌建築、等に着目した
飛騨近代史の再展望— 黒柳大造
斐太紀 15 (16・10) P 115—126
万里集九詩集『梅花無尽蔵』に詠まれ
た「天下三名泉下呂温泉」 松波民
善 濃飛の文化財 55 (16・03) P
121—122
飛騨山野村の歴史 山野村の峠の変遷
その2 山野村の峠の変遷 上平隆
憲 斐太紀 15 (16・10) P 50—73
白川郷の硝煙作り 関ヶ原の歴史
304 (16・11) P
美濃守護土岐頼武と頼充について 横
山住雄 美文会報 520 (14・06) P
5—8
武蔵武士内島忠俊は承久の乱(1221
年)における勲功を賞され恩賞地と
して信濃国地頭職を宛て行われたか
坂部和夫 斐太紀 15 (16・10)
P 256—264
山科家古文書に三木氏をみる —三木
氏(直頼・良頼・自綱)— 住修
飛騨の中世 7 (16・08) P 75—85
と姉ちゃんと上石津「時」 その1
鈴木隆雄 美濃の文化 134 (16・
06) P 6—7
と姉ちゃんと上石津「時」 その2
鈴木隆雄 美濃の文化 135 (16・
10) P 6—7
藩主戸田氏共の勤皇 清水進 維新の
道 岐阜 35 (16・07) P 2—7
若原家奇遇時代の郁太郎 「所郁太
郎」 林淳治 文化財おの 77
(16・08) P 8—10
野村洋三のこと 長沼利治 文化財お
の 77 (16・08) P 11
佐野一彦資料目録(著作原稿の部)
渡辺祐子・可児光生 美濃加茂市民
ミュージアム紀要 15 (16・03) P
1—32
渡辺和郎の地方文芸活動について 桜
田幸世 美濃加茂市民ミュージアム
紀要 15 (16・03) P 1—10
織田信長禁制にみる幕府勢力圏 水野
嶺 織豊期研究 18 (16・10) P 17
—33
試論・織田信長の永禄六・七年の花押
と水野藤九郎宛書状 横山住雄 美
文会報 536 (15・11) P 2—4
牧野英一・良三先生 梶井正美 斐太
紀 15 (16・10) P 93—105
山岡鉄舟の魅力 —飛騨で培った人間
力— 北村豊洋 斐太紀 15 (16・
10) P 127—134
飛騨金森家、礎を固めた金森三代目重
頼 生誕と金森可重の恋 桐谷忠夫
斐太紀 15 (16・10) P 173—183
郷治と金華山城落城両説論争問題(番
外) 信長と徳黄(1) 伊藤克司
濃飛の文化財 55 (16・03) P 41—
45
脇水鉄五郎博士の名勝・天然記念物の
保存に関する業績(6) 小島駿男
濃飛の文化財 55 (16・03) P 58—
62
新美南吉を支えた大垣の友人 河合弘
の生涯 鈴木隆雄 濃飛の文化財
55 (16・03) P 116—121
角竹喜登と広瀬武夫 野原清嗣 会報
「岐阜県高等学校教育研究会公民・
地歴部会」 55 (16・03) P 3—8
岐阜地理学会名誉会長 伊藤安男先生
を悼む 「略歴 著作目録」 岐阜
地理 59 (16・03) P 1—12
八ツ寺の楠と電話局 川上和重 伊奈
波さん 28 (17・01) P 8—9
岐阜高校周辺の地域調査 堀英男 岐
阜地理 59 (16・03) P 54—65
大安寺川の洪水と改修 佐藤浩子 資
料館だより(各務原市歴史民俗資料
館) 33 (15・03) P 4—7
商店街の歴史 近代交通の発達と「那
加駅前」地区 佐藤浩子 資料館だ
より(各務原市歴史民俗資料館)
34 (16・03) P 6—9
不破の由来と不破関の真実 関ヶ原の
歴史 305 (16・12) P
田山花袋 美濃関ヶ原を訪ね歩く
関ヶ原の歴史 301 (16・08) P
名勝「おくのほそ道の風景地」大垣船
町川湊 清水進 濃飛の文化財 55
(16・03) P 16—21
日記は語る 北岡田家 大住宅の防災
対策と歴史 岡田雅義 文化財おの
の 77 (16・08) P 12—15
国登録文化財 北岡田家住宅 長沼利
治 濃飛の文化財 55 (16・03) P
26—29
今も「家名」で呼ぶ坂内の人たち 神

- 田卓朗 篝火 142 (16・07) P 16 | 支援に関する研究 ―「食」の場面における彼等の能力活用について― 土谷彩喜恵 中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究紀要 17 (16・03) P 19―27
- 歴史資料館(仮称)の建設について 高橋教雄 郡上史談 149 (16・06) P 9―10
- 国指定天然記念物 大銀杏樹の落雷被害について 北原康央 濃飛の文化財 55 (16・03) P 22―25
- 社会科学**
- 地域外からの若者を地域の力にする ―地域おこし協力隊員の活躍を広げるには― レポート 164 (17・01) P 23―29
- 恵那市における男女共同参画の取り組みの歴史と現状 佐藤延子 自治研ぎふ 116 (16・09) P 3―61
- 施設参観記録「岐阜刑務所」 大野正博 朝日法学論集 47 (16・03) P 153―165
- 大垣市産業連関表の作成と地域経済分析 野崎道哉 岐阜経済大学論集 50―1 (16・08) P 45―63
- ビッグネームがプロスポーツ観戦者における観戦者特性及び行動に与える影響の研究 ―2014年シーズンに岐阜における新規観戦者の観戦者特性及び観戦行動から― 山本達也・大野貴司 地域経済 35 (16・03) P 1―13
- 岐阜県版生涯現役社会の実現に向けて ―総合支援拠点づくりとシルバー人材センターの活用― レポート 162 (16・07) P 3―12
- 岐阜県の認知症高齢者の共同生活介護
- 03) P 73―77
- 自然科学**
- 熊本地震と岐阜県 山村明義 伊奈波さん 27 (16・07) P 10―11
- 完新世後期における濃尾平野北部の植生復元 内藤さゆり「ほか」岐阜大学教育学部研究報告(自然科学) 40 (16・03) P 93―97
- 2016年ギフチョウ属調査報告 だん だらちよう 102 (16・08) P 45―50
- ヒメギフ岐阜県産 飯田園昌 だんだらちよう 103 (16・12) P 4―5
- 岐阜県における危険ドラッグ製品の成分検査(平成24、27年度) 神山恵理奈「ほか」岐阜県保健環境研究所報 24 (16) P 8―13
- 工学・産業**
- 船頭平間門の建設と構造 KISSO 98 (16・03) P 3―4
- 木曾川下流域のケレップ水制 KISSO 98 (16・03) P 5―7
- 幕末の砂防工事と東濃上水道用水供給事業 KISSO 100 (16・10) P 3―4
- 五六輪中・河渡輪中の成立と水論 安田守 岐阜地理 59 (16・03) P 44―53
- 犀川騒擾事件とその歴史的背景 野田清影 濃飛の文化財 55 (16・03) P 63―67
- 松倉城の石垣について(中1) 佐伯哲也 斐太紀 15 (16・10) P 204―223
- 石材(濃飛流紋岩)の帯磁率測定から見えてくる高山城の石垣普請 岩田修 斐太紀 15 (16・10) P 224―246
- 水田用小型除草ロボット(アイガモロボット)の開発(第6報) 藤井勝敏「ほか」岐阜県情報技術研究所研究報告 16 (15・07) P
- 水田用小型除草ロボット(アイガモロボット)の開発(第7報) 藤井勝敏「ほか」岐阜県情報技術研究所研究報告 17 (16・07) P 48―51
- 茂住宗貞が活躍した 初期の茂住・和佐保銀山の姿(1) 茂住修史 飛騨の中世 7 (16・08) P 86―97
- 美濃の近現代陶磁器産業史 ―陶業界を揺るがせた、スープレッドとプレミアムデザイナー― 青木本吉 瑞浪市陶磁資料館研究報告 16 (16・03) P 1―44
- 陶片からみる瀬戸黒茶碗 ―成形と釉調の一考察― 青山双男 瑞浪市陶磁資料館研究報告 16 (16・03) P 45―64
- 江戸時代前期ころの美濃窯に現れる寿文文様 河合竹彦 瑞浪市陶磁資料館研究報告 16 (16・03) P 65―96
- 美濃焼生産地土岐市下石町 ―民家に保存されていた昭和のやきもの3― 桃井勝 瑞浪市陶磁資料館研究報告 16 (16・03) P 97―147
- 今も生きる濃飛と郡上村開拓団 馬淵曼修 岐阜地理 59 (16・03) P 14―23
- 敗戦後農地解放の内容を記した文書 安藤弘文 美文会報 530 (15・05)

- 蛭ヶ野高原の開拓 (4) 馬淵旻彦
 濃飛の文化財 55 (16・03) P 68—72
- 岐阜県の神坂風穴見学記 — 恵那市の山本風穴、東野蚕種製造所、中津川市の神坂風穴 — 大橋公雄 産業遺産研究 23 (16・07) P 47—48
- 幕末期木曾山の林業・山村と政治社会構造 — 享保以後木曾山を中心とする本伐仕出と山伐在郷村 — 大崎晃 徳川林政史研究所研究紀要 49 (15・03) P 13—36
- 岐阜県東部の砂防堰堤について 3 田口憲一 産業遺産研究 23 (16・07) P 20—27
- 割船と木曾三川で使用された川船 KISSO 100 (16・10) P 5—7
 明治一五年の木曾川流送の「諸荷物通送證券」一枚 安藤弘文 美文会報 519 (14・04) P 7—8
- 八百津町と木曾川 (舟運) 黒瀬湊 (一) 二本木紘 美文会報 520 (14・06) P 1—4
- 八百津町と木曾川 (舟運) 黒瀬湊 (二) 二本木紘 美文会報 525 (14・11) P 1—5
- 八百津町と木曾川 (舟運) 三 二本木紘 美文会報 531 (05・06) P 1—7
- 八百津町と木曾川 (舟運) 黒瀬湊 (四) 二本木紘 美文会報 535 (15・10) P 1—4
- 御嵩宿問屋が記録した九宿場組合の事 安藤弘文 美文会報 519—2
- (14・05) P 1—4
 御嵩宿問屋控文書より 継立荷物の事 安藤弘文 美文会報 521 (14・07) P 1—2
- 地域公共交通の模索と再生への試み — 養老鉄道を事例にした挑戦 — レポート 163 (16・10) P 3—17
 ローカル鉄道経営における観光列車導入の可能性 — 長良川鉄道における観光列車導入を事例として — 坂本桂二・大野貴司 地域経済 35 (16・03) P 25—34
- 岩村電車関連の新出資料3題、永田宏・藤井建 産業遺産研究 23 (16・07) P 65—66
- 芸術・言語・文学
 荒川修作作品の解説 — 岐阜県美術館所蔵作品について — 岡田潔 岐阜県美術館研究紀要 4 (16・07) P 112—117
- ギャラリー山恵の誕生 横山良彦 美文会報 522 (14・08) P 1—6
- 岐阜県美術館の歴史 30年の歩み展 <Timeless future> — その構成におけるプロセスデザインについて — 廣江泰孝 岐阜県美術館研究紀要 4 (16・07) P 118—125
- 「乃木大将」平成の世に青墓の地で玉碎す 桐山淳 美濃の文化 134 (16・06) P 8—8
- 円空の彫刻芸術 (1) — その評価の歴史 野村幸弘 岐阜大学教育学部研究報告 (人文科学) 64—2 (16・03) P 71—79
- 赤坂千手院と美濃国の権力者 織田光一 美濃の文化 134 (16・06) P 2—5
- 野口雨情作・伊奈波音頭覚書 東道人 伊奈波さん 27 (16・07) P 6—7
 ポート王国かわべ 横山良彦 美文会報 532 (15・07) P 1—9
- ウェストンは笠ヶ岳に登っていない 日本近代登山史を書き換える検証 木下喜代男 斐太紀 15 (16・10) P 106—114
- 偉大なる「たわけ文化圏」を探る！ 神田卓朗 篝火 143 (16・11) P 6—7
- 美濃俳諧作法の顕彰と無形文化財の保護対策について 平田盛夫 濃飛の文化財 55 (16・03) P 54—58
- 気ままに美濃路 (文学の風景) のどかなり、陽春の美濃路 — 松尾芭蕉「野ざらし紀行」をめぐる (その4) 板橋和朗 美濃文学 94 (16・09) P 36—39
- 高山流水 4 明治の記録 美濃・飛騨旅行記 「鳥居龍蔵」 朝戸秀臣 編 「堀内新泉著」 斐太紀 15 (16・10) P 4—13
- 阿部栄之助と佐佐木信綱 — 島崎藤村と静子夫人の葉書と手紙 (その2) — 大野博見 斐太紀 15 (16・10) P 74—92

郷土関係 逐次刊行物 文献目録

その112

〔注〕

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に關係のある主要なものを採録した。

○収録は平成28年10月～平成29年3月までに岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部選及分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌(紙)名・巻号(発行年)・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」(日本十進分類表に準拠)による。

総記・宗教

歴博草創のころ 土山公仁 博物館だより 95(17・03) P2

信教とお国柄 概観 日本の八百萬の神仏・信仰の誠 信心・畏敬の祈りは、今いずこ 桐谷忠夫 斐太紀 16(17・04) P206-215

飛騨の大まつり 飛騨山王宮日枝神社史より 日枝神社史編集委員会 斐太紀 16(17・04) P28-34

大嘗祭御笏献上 藤枝和泉 斐太紀

16(17・04) P35-38
虎溪山永保寺近況 武藤英司 濃飛の文化財 56(17・03) P7-11
飛騨にある徳本上人の石碑について 長瀬公昭 斐太紀 16(17・04) P172-194

歴史・地理

岐阜市宇田遺跡・梅林小学校遺跡周辺で採集された弥生・古墳時代資料について 三山らさ 岐阜市歴史博物館研究紀要 23(17・03) P1-10

高山市上野垣内環状列石(三つ岩)と位山、松山横穴、千光寺愛宕社、岩舟滝のつながり 左合勉 斐太紀 16(17・04) P307-337

関ヶ原古戦場の景観 沢田伊一郎 どのこいし 113(17・01) P7-10

壬申の乱後の村国連氏 吉田晋右 岐阜市歴史博物館研究紀要 23(17・03) P24-32

あゝ、日子坐王 ―この地に崩じ伊波乃西に駿を建つ― 清水昭男 濃飛の文化財 56(17・03) P26-30

岐阜市歴史博物館蔵「賤ヶ岳合戦図屏風」(雑考) 中島雄彦 博物館だより 94(16・11) P6-7

幕末の美濃国と幕領 ―文久元年私領化の風聞と箱訴― 望月良親 岐阜市歴史博物館研究紀要 23(17・03) P12-22

近代における大垣の存在 ―運輸・交通等の面からの考察― 國枝徹朗 東海学院大学研究年報 2(17・03) P173-180

棚橋家文書研究にみる江戸期の福束輪中「楡俣村」 田中國昭 輪之内学研究 6(17・04) P14-25

石徹白の中世と登拝道の成立(白山信仰2) 高橋教雄 郡上史談 151(17・02) P1-9

封建最後の年 郡上藩当世事情(『郡上藩會計属吏日記』より) 森永正文 郡上史談 151(17・02) P9-16

川辺町の城址・城館の縄張りについて 横田穰 川辺学研究 2(16・12) P62-68

もうひとつの山論と昭和時代の山の管理 岡田勇 川辺学研究 2(16・12) P69-79

宿儺のあと 如是我説 儺追御酒男「直井幹夫」 斐太紀 16(17・04) P300-306

木曾兵の飛騨侵入について、その他を語る 菅田一衛 斐太紀 16(17・04) P296-299

神様となった男・広瀬屋清七郎(その1) ―天明騒動指導者の生涯と決意― 代情岑郎 濃飛の文化財 56(17・03) P35-40

歴史の記述に見る実と虚と ―三島勘左衛門、新島渡島のこと― 林格男 斐太紀 16(17・04) P153-160

天領飛騨の民衆と政治 第2章 石代五ヶ所開合法と安石代 尾崎啓介 斐太紀 16(17・04) P195-205

飛騨山野村の歴史 山野村の中の鎌倉街道試論 上平隆憲 斐太紀 16(17・04) P281-295

名字発祥と現況について 横田穰 川

辺学研究 2(16・12) P140-149

濃州安八郡川並村大字小泉村(町)・説田家の歴史・開発・地名・祭祀 説田武紀 美濃の文化 136(17・02) P9-10

日記は語る北岡田家 ―歴代当主とその背景(上)― 岡田雅義 文化財のおおの 78(17・02) P11-12

姉小路家と三木家の關係についての一考察 徳原源兵衛 斐太紀 16(17・04) P255-280

今を築いた郷土の偉人に光を ―若井栄蔵 木澤禎治 井上敏明 岩井定好 長沼寛道 井戸喜男 川辺学研究 2(16・12) P117-129

文化財を保護するため博物館主 棚橋源太郎に学ぶべき事柄 平田盛夫 濃飛の文化財 56(17・03) P22-25

郷治と金華山城落城面説論争問題(番外) 信長と棲黄(2) 伊藤克司 濃飛の文化財 56(17・03) P31-35

ユダヤ難民を救った最初の日本人 大垣ゆかりの樋口季一郎 鈴木隆雄 濃飛の文化財 56(17・03) P44-49

信長と鷹狩り ―ふるさと教育の視点から― 山田昭彦 会報「岐阜県高等学校教育研究会公民・地歴部会」 56(17・03) P52-54

山岡鉄舟の魅力 ―飛騨で培った人間力―(2) 北村豊洋 斐太紀 16(17・04) P145-152

丸屋平八小伝(後) ―元伐休山前後の一高山人― 福井重治 斐太紀 16(17・04) P161-171

岐阜県重要文化財 木造金剛力士立像

- 岐阜県指定文化財調査報告書 57
(17・03) P1—8
- 世界に誇る清流長良川 ―なぜ世界農業遺産に認定されたのか― 全国高等学校社会科研究発表大会出場作品
岐山高専学校郷土部 濃飛の文化財 56 (17・03) P11—114
- 岐阜県教育委員会6年目研修理科「木曾川地質巡検」のねらいと内容 川上紳一・勝田長貴 岐阜大学教育学部研究報告 教育実践研究 19 (17・03) P31—38
- 地図から考える戦国城下町・岐阜 山村重希 古地図文化岐阜 17 (17・05) P2—7
- 「壬申の乱」が産んだ岐阜南町「薬師寺」物語 ―「地名文化財」と言えるか?― 大竹庸元 濃飛の文化財 56 (17・03) P89—93
- 幻の「養老の滝 詩碑」 勸皇家遺芳二碑への想い「小自在庵南園」〔梁川星巖〕 藤塚久治 養老町の文化財 145 (16・10) P369—370
- 町内古道と石道標巡り(中) 養老町の文化財 145 (16・10) P370—375
- 川辺町の芝居小屋 中川辺を中心とした聞き取り調査から 堀井兼一 川辺学研究 2 (16・12) P9—26
- 川辺の石碑の由来 杉山洋 川辺学研究 2 (16・12) P27—51
- 川辺の庚申さま 杉山洋 川辺学研究 2 (16・12) P93—106
- 乗鞍岳登拝路の盛衰 木下喜代男 斐太紀 16 (17・04) P67—76
- 高山市内、石灯籠などに穿たれた円形
- 穴の紹介 岩田修 濃飛の文化財 56 (17・03) P94—100
- 新宮町から消えた「国造の森」 直井昭夫 斐太紀 16 (17・04) P49—56
- 社会科学
かわべ近未来マップ 地域創生に向けて 川辺学研究 2 (16・12) P150—178
- アルミニウム関連産業を中心とした日本企業の海外展開 ―岐阜県企業の海外進出の概況― 三和元 地域経済 36 (17・03) P83—96
- 生活困窮者自立支援制度における岐阜市での取組み 富田耕二 自治研ぎぎ 117 (17・01) P42—46
- 高須輪中近代水害史抄録 ―昭和51年安八水害40年・明治29年大水害120年に寄せて― 水谷容子 KISSO 101 (17・02) P8—10
- 大垣市における仮想的洪水災害に関する経済被害の推計 野崎道哉 地域経済 36 (17・03) P33—38
- 岐阜県における乳児家庭全戸訪問事業の現状と課題(1) 宮島萌「ほか」 岐阜大学教育学部研究報告 教育実践研究 19 (17・03) P61—70
- 岐阜県における乳児家庭全戸訪問事業の現状と課題(2) 今村民子「ほか」 岐阜大学教育学部研究報告 教育実践研究 19 (17・03) P71—81
- 川辺町 教育の変遷 横田穰 川辺学研究 2 (16・12) P80—92
- 模擬選挙を実施して「加茂農林高校」 井上宣生 会報「岐阜県高等学校教育研究会公民・地歴部会」 56 (17・03) P20—28
- 多治見工業高校における主権者教育について 松岡千年 会報「岐阜県高等学校教育研究会公民・地歴部会」 56 (17・03) P29—33
- 地域素材の古典を活用した地域教材の開発と説明 ―加藤磯足『河の辺の翁物語』の第二話より― 濱千代いづみ 岐阜聖徳学園大学国語国文学 36 (17・03) P49—66
- 岐阜市立女子短期大学の移転の経緯 ―新聞記事に着目して― 白井直之 岐阜市立女子短期大学研究紀要 66 (17・03) P101—108
- 岐阜県の特別支援学校に通う児童・生徒の身体活動状況と運動習慣および保護者の運動に対する意識 池田磨美「ほか」 岐阜大学教育学部研究報告(自然科学) 41 (17・03) P121—126
- 岐阜県重要無形民俗文化財 小屋名しようけ 岐阜県指定文化財調査報告書 57 (17・03) P10—18
- 聞き取り 山家の足跡(1) 竹原淑美 斐太紀 16 (17・04) P57—61
- 飛騨の獅子舞雑考(その2) 元下義博 斐太紀 16 (17・04) P77—105
- 大垣藩主と大垣祭 清水進 濃飛の文化財 56 (17・03) P12—15
- 「大垣の軸行事」重要無形民俗文化財について 浅野準一郎 濃飛の文化財 56 (17・03) P16—20
- 観音さんまつり(その3) 太鼓、笛、踊 田中耕輪之内学研究 6 (17・04) P54—65
- 人生儀礼 ―五反郷片野家の葬礼― 片野雅夫 輪之内学研究 5 (16・04) P18—26
- 自然科学
御嵩は動物化石の宝庫IIほか 鈴木富雄 濃飛の文化財 56 (17・03) P56—60
- 輪之内学の領域(5) ススキとオギの分布 田中俊弘 輪之内学研究 4 (15・04) P35—38
- 川辺のマイマイ(カタツムリ) 栗山園彦 川辺学研究 2 (16・12) P107—116
- 川辺のギフチョウと植物 伊佐治要衛 川辺学研究 1 (15・12) P87—108
- 関市志津野の「ちよつとおもしろい顔」のギフチョウたち 佐橋良隆 だんだらちよう 104 (17・04) P1—2
- 岐阜県飛騨市神岡町のヒメギフチョウ 水谷治雄 だんだらちよう 104 (17・04) P35—39
- 川辺ダム湖の魚たち 栗山園彦 川辺学研究 1 (15・12) P57—67
- 岐阜市における歴史遺産としての絶滅危惧種ウシモツゴ 向井貴彦 岐阜大学地域化学部研究報告 39 (16・09) P41—45
- 「ハリヨを守る会」と「池田高校科学部」とのハリヨ保護活動の連携 竹中昭文 濃飛の文化財 56 (17・03) P107—110
- 川辺の野鳥 栗山園彦 川辺学研究 2 (16・12) P130—139
- 学士課程教育の成果と看護実践現場の

- 課題 — 岐阜県立看護大学における卒業生への質問紙調査から — 星野純子「ほか」 岐阜県立看護大学紀要 17-1 (17・03) P 137-145
- 「こどものもり」プロジェクト — 岐阜市民病院小児病棟壁画制作の取り組み — 小川直茂 岐阜市立女子短期大学研究紀要 66 (17・03) P 81-86
- 中津川市の新公立病院改革プラン 吉村久資 自治研ぎふ 117 (17・01) P 24-33
- 大垣市の医療費助成制度 丸山新吾 自治研ぎふ 117 (17・01) P 34-41
- 岐阜県西濃地区の保育士を対象としたアンケート調査による食物アレルギー児の対応の実態とその課題 本多恭子 岐阜聖徳学園大学紀要(教育学部編) 56 (72) (17・02) P 31-39
- 走行サーベイによる岐阜県内の線量測定 — 美濃市、岐阜市、大垣市 — 山内浩司「ほか」 岐阜医療科学大学紀要 11 (17・03) P 33-36
- 工学・産業**
- 福東輪中の悪水落樋の変遷と海松新田の四間門樋 田中昭 輪之内学研究 5 (16・04) P 7-17
- 福東輪中の用水対策 神戸孝司 輪之内学研究 5 (16・04) P 27-33
- 輪中集落の住戸構成と集落環境の研究(その1) — 輪之内町における水屋の研究を中心として — 吉川立(吉川道教報告) 輪之内学研究 5 (16・04) P 61-76
- 近世飛騨国の国中余荷普請による治水 KISSO 101 (17・02) P 3-4
- 大垣市輪中館・輪中生活館とその活用 長澤均 濃飛の文化財 56 (17・03) P 76-81
- 輪中の近代化と福東輪中の変容 伊藤憲司 輪之内学研究 6 (17・04) P 2-13
- 輪中集落の住戸構成と集落環境の研究(その2) — 輪之内町における水屋の研究を中心として — 吉川立(吉川道教報告) 輪之内学研究 6 (17・04) P 74-87
- 松倉城の石垣について(中2) 佐伯哲也 斐太紀 16 (17・04) P 216-225
- 岩田氏の反論に答える 佐伯哲也 斐太紀 16 (17・04) P 226-233
- 帯磁率から高山城石垣の矢穴石と、その行方を探る 岩田修 斐太紀 16 (17・04) P 234-254
- 清流根尾川が潤す自然・農業と奥美濃水力発電所 KISSO 102 (17・03) P 3-4
- 美濃焼ブランドの新たな付加価値開発 小稲彩人・加藤弘二 岐阜県セラミックス研究所研究報告 2010 (16・11) P 18-19
- 山県市伊自良の柿渋づくり 西村覚良 濃飛の文化財 56 (17・03) P 61-70
- 「伊吹山麓よもぎ」を使った機能性製品の開発(第3報) 今泉茂巳・加島隆洋 岐阜県産業技術センター研究報告 10 (16・10) P 42-44
- 岐阜県の水、米、酵母で造るぎふトッ プブランド清酒の開発(第2報) 吉村明浩・大津崇 岐阜県産業技術センター研究報告 10 (16・10) P 45-46
- 中山間地域における棚田保全の取り組み — 岐阜県恵那市坂折棚田を事例として — 平井正春 東海地理 54 (17・03) P 2-4
- 進む集落営農 — 農地の所有・利用形態の変遷 — 神戸孝司 輪之内学研究 6 (17・04) P 26-36
- 高鷲村の満洲開拓(1) — 理春高鷲開拓団員の話を例として — 馬淵夏修 濃飛の文化財 56 (17・03) P 50-56
- 恵みの森林の住人たち 26 ハンターへの社会的な要請と危惧 森元萌弥 森林のたより 756 (16・09) P 10-11
- 恵みの森林の住人たち 27 捕獲では減らない — 里のニホンザル被害 桐井英幸 森林のたより 759 (16・12) P 8-9
- 恵みの森林の住人たち 28 野生動物総合対策推進事業 — 岐阜大学の寄附研究部門の今後の活動 — 白川拓巳 森林のたより 764 (17・05) P 10
- 高山陣屋の山林行政と飛騨川上流域の元伐村 KISSO 101 (17・02) P 1-2
- 森の名手・名人シリーズ42 道づくり 山と人生の道づくり 寺澤俊二 踏込龍生 森林のたより 765 (17・06) P 6-7
- 森の名手・名人シリーズ41 造林手(枝打ち) 佐見の山 安江正行 服部裕也 森林のたより 762 (17・03) P 8-9
- 森の名手・名人シリーズ39 ヒノキの力 松皮採取原皮師 須賀均 森拓郎 森林のたより 757 (16・10) P 8-9
- 森の名手・名人シリーズ40 椎茸一筋 60年 原木椎茸栽培 山田多賀男 孝森博樹 森林のたより 759 (16・12) P 6-7
- 輪之内町の交通の歩み 川瀬敏郎 輪之内学研究 6 (17・04) P 45-53
- 筏流送再現記録の近況 伊東久之 川辺学研究 2 (16・12) P 3-8
- 起宿と特殊堤(木曾三川の舟運と渡し 第3編) KISSO 101 (17・02) P 5-7
- 筏の構造と川湊の盛衰(木曾三川の舟運と渡し 第4編) KISSO 102 (17・03) P 5-7
- 美濃路の歴史・文化、見て歩き — 墨俣宿から起宿までを事例として — 平井正春 古地図文化岐阜 17 (17・05) P 8-11
- リニア中央新幹線岐阜県駅周辺整備に関する考察 — 中津川市民・恵那市民のアンケート調査結果より — 三井栄 岐阜大学地域化学部研究報告 40 (17・02) P 1-21
- 芸術・言語・文学**
- ギヤラリー山恵の誕生 横山良彦 川辺学研究 1 (15・12) P 177-190
- 輪之内町のお地蔵さま(その2) 早野良博 輪之内学研究 6 (17・04) P 66-73

- 村瀬太乙作「桶底誤穿婦人図」につ
いて 船戸忠幸 濃飛の文化財 56
(17・03) P 41—43
- 飛驒の仕事歌「田植え歌」堀尾雄二
斐太紀 16 (17・04) P 106—113
- 映像作品に描かれた現代飛驒のイメージ
——映画「君の名は。」映画「ポ
プラの秋」、TVアニメ「氷菓」:
飛驒の視点から——黒柳大造 斐太
紀 16 (17・04) P 39—48
- 消えてゆく飛驒弁・美濃弁と川辺の
弁笑景 井戸喜男 川辺学研究 2
(16・12) P 52—61
- 岐阜県方言と愛知県方言の連続性 山
田敏弘 岐阜大学教育学部研究報告
(人文科学) 65—2 (17・03) P 1
—11
- 飛驒方言の語源に関する小考 山田敏
弘 斐太紀 16 (17・04) P 114—125
- 小栗判官と照手姫 関ヶ原の歴史 309
(17・04) P
- 謡曲『鵜飼』と芭蕉の句「おもしろ
てやがて悲しき鵜舟哉」の本意 赤
羽学 獅子吼 928 (16・08) P 34—37
- 気ままに美濃路(文学の風景) 深夜
の岐阜駅、青春への出発(岐阜市)
——山田智彦「水中庭園」をめぐって
(1)——板橋和朗 美濃文学 95
(17・03) P 32—35
- 新美南吉と大垣 鈴木隆雄 美濃の文
化 136 (17・02) P 2—5
- 高山流水 5 (完結) 明治の記録 美
濃・飛驒旅行記「鳥居龍蔵」朝戸
秀臣編 「堀内新泉著」斐太紀 16
(17・04) P 6—27

郷土関係 逐次刊行物 文献目録

その
113

〔注〕

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に係のある主要なものを採録した。

○収録は平成29年10月～平成30年3月までに岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部追加を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌(紙)名・巻号(発行年)・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」(日本十進分類表に準拠)による。

総記・宗教

岐阜大学教育学部郷土博物館の史料整理について 中尾喜代美 濃飛史艸 112(16・04) P 3-4

佐野一彦資料目録(著作原稿の部) 渡辺祐子 可児光生 美濃加茂市民ミュージアム紀要 15(16・03) P 1-32
岐阜県博物館協会加盟館の閉館リストと収蔵物の移動について 南本有

紀 岐阜県博物館調査研究報告 37

(17・03) P 5-12

郡上の虚空蔵信仰(高賀山信仰)の展開 高橋教雄 濃飛の文化財 (18・03) P 21-25

「諸祭次第并繪圖」(式部寮)綴綴と「神社祭式」(同寮)の輪郭 東道人 伊奈波さん 29(17・07) P 8

戦後の神社制度 社格について 藤枝和泉 斐太紀 17(17・10) P 5-7

中山道十七宿と美濃の神々 その15 今津隆弘 中山道加納宿 67(16・04) P 15-16

中山道十七宿と美濃の神々 その16 今津隆弘 中山道加納宿 68(16・10) P 11-13

中山道十七宿と美濃の神々 その17 今津隆弘 中山道加納宿 69(17・04) P 10-12

加納の氏神さま 林康司 中山道加納宿 68(16・10) P 2-3

重要文化財真禪院本地堂保存修理工事の紹介 藤倉研一 美濃の文化 (18・02) P 2-4

明建神社の「社標」 齋藤武生 文化財やまと 42(17・06) P 1-2

「日吉神社創建千二百年祭」に寄せて 三原法雲 濃飛の文化財 (18・03) P 25-27

妙心上人入定二百年祭に向けて「横蔵寺」 古野幸博 いびがわ文化財 44(16・04) P 1-3

大應山 光國禪寺(由緒と沿革) 大寶良明 中山道加納宿 69(17・04) P 2-4

明林山神通寺の歴史 その法脈と血脈 I 朝戸秀臣 斐太紀 17(17・10) P 142-155

歴史・地理

岐阜県の一括出土銭(資料集成) 小野木学 岐阜県文化財保護センター研究紀要 3(17・06) P 1-11

飛騨地域における縄文時代前期中葉から後葉の竪穴建物について 三島誠 岐阜県文化財保護センター研究紀要 3(17・06) P 12-21

御母衣ダム湖低調査 どんこいし 114(17・08) P 10-11

庄川町中畑の土製品 吉朝則富 どんこいし 115(18・01) P 4

国史跡東町田墳墓群の特徴と意義 長澤均 濃飛の文化財 57(18・03) P 11-16

岐阜県の異形石器について 岩田勲 斐太紀 17(17・10) P 43-54

尾崎遺跡出土須恵器高坏 磯谷祐子 美濃加茂市民ミュージアム紀要 16(17・03) P 16-33

県歴史資料館の史料を読む 小川敏雄 濃飛史艸 112(16・04) P 1-2

西美濃の古墳時代を考える 横幕祐祐 文化財おの 79(17・08) P 4-5

関ヶ原新説(西軍は松尾山を攻撃する

ために関ヶ原へ向かったとする説)に基づく石田三成藤下本陣比定地「自害峰」遺構に関する調査報告 高橋陽介 城 224(17・06) P 14-26

井伊直政と関ヶ原の戦い(1) 関ヶ原の歴史 315(17・10)

関ヶ原 南天満山 宇喜田秀家陣城の考察 関ヶ原の歴史 317(17・12)

床机場の真実「関ヶ原」 関ヶ原の歴史 319(18・02)

戊辰戦争と大垣藩・磐城平藩美濃領の人たち(要旨) 小川敏雄 美濃の文化 138(17・10) P 3-5

想いをつなぎ、平和を考える 岐阜空襲を記録する会、空襲体験を語りつぐ大垣の会の活動から 篠崎喜樹 高木正一 地域経済 37(18・03) P 1-27

ああ、日子坐王 この地に崩じ伊波乃西に陵を建つ 清水昭男 濃飛の文化財 56(17・03) P 26-30

美濃(三野)国の郡(評)の初見について 近藤大典 岐阜県博物館調査研究報告 37(17・03) P 13-18

岐阜市歴史博物館蔵「賤ヶ岳合戦図屏風」(雑考) 中島雄彦 博物館だより 97(17・09) P 6-7

織豊期・西美濃高木氏の動向 山田昭彦 岐阜県博物館調査研究報告 37(17・03) P 1-12

加納町役場で思うこと 廣江徳郎 中山道加納宿 67(16・04) P 2-3

元加納町役場と吾が思い出 林邦隆

- 中山道加納宿 67 (16・04) P 3 |
- 5 回想 旧加納町役場 尾関孝彦 中山道加納宿 67 (16・04) P 5 | 6
- 旧加納町役場庁舎を未来へ伝えるために 石原英典 中山道加納宿 67 (16・04) P 7
- 旧加納町役場を受け継ぐもの 水野律子 中山道加納宿 67 (16・04) P 9
- 9 加納藩と明治維新 8 丸山幸太郎 中山道加納宿 67 (16・04) P 10 |
- 12 加納藩士田辺政六さんの居宅発見 (1) 西村覺良 中山道加納宿 68 (16・10) P 6 | 8
- 加納藩士田辺政六さんの居宅発見 (2) 西村覺良 中山道加納宿 69 (17・04) P 6 | 10
- 『入水記録帳』を読み直す ―寛政10年の加納藩の洪水・一揆・復興― 望月良親 博物館だより 96 (17・06) P 6 | 7
- 昔の子どもたちが語る「あの頃の柳ヶ瀬」その① 神田卓朗 篝火 145 (17・07) P 16 | 17
- 昔の子どもたちが語る「あの頃の柳ヶ瀬」その② 神田卓朗 篝火 146 (17・11) P 16 | 17
- ここまで100年、これから100年 飛行場がもたらしたものの 各務ヶ原飛行場100周年記念事業 資料館だより (各務原市歴史民俗資料館) 36 (18・03) P 2 | 6
- 「東伯」訴状が語る幕末の本阿弥新田村 加藤和保 海津市歴史民俗資料館 報 15 (16・03) P 3 | 6
- お国は海抜ゼロメートル地帯高須松平家の国入り 宮川充史 KISSO 105 (18・01) P 8 | 10
- 戦時の梵鐘・半鐘・具足 佐藤和夫 美濃の文化 138 (17・10) P 8 | 9
- 大垣市の初期宗門改帳に見る半檀家の様相について 児玉剛 美濃の文化 139 (18・02) P 5 | 7
- 名もなき人々の歴史 ―濃州安八郡小泉村の江戸時代― 富田満江 濃飛史艸 113 (16・09) P 2 | 6
- 殿様のお成り 清水進 濃飛の文化財 57 (18・03) P 32 | 35
- 三輪の城(陣屋)について(下) 大菱貌をとげた跡地 宗宮崇夫 いびがわ文化財 44 (16・04) P 5 | 6
- 石徹白の虚空蔵信仰(白山信仰3) 高橋教雄 郡上史談 152 (17・06) P 2 | 12
- 石徹白の虚空蔵信仰(高賀山信仰)の展開(白山信仰4) 高橋教雄 郡上史談 153 (17・10) P 6 | 12
- 凌霜隊 坂田林左衛門のこと 高橋教雄 郡上史談 154 (18・02) P 1 |
- 3 「義婢久波碑」について 林隆司 いびがわ文化財 45 (17・04) P 6 |
- 7 飛越の二つの川筋の動き 侵入した飛騨衆、寄り返す前田氏 住修 飛騨の中世 8 (17・09) P 12 | 25
- 戦国末から文禄、慶長まで 茂住の宗貞を考える 都竹清隆 飛騨の中世 8 (17・09) P 26 | 38
- 歴史資料に観る「問名寺」と「照蓮寺」等について 二反田實 飛騨の中世 8 (17・09) P 39 | 53
- 飛騨市神岡町東雲遺跡における採集遺物について 三好清超 飛騨の中世 8 (17・09) P 54 | 58
- 飛騨中世史研究私論(六) 飛騨願智坊永についての前半のまとめ 二反田實 飛騨の中世 8 (17・09) P 75 | 95
- 中世城館の展開 江馬氏の十六世紀後半 都竹清隆 飛騨の中世 8 (17・09) P 96 | 104
- 茂住宗貞が活躍した初期の茂住・和佐保銀山の姿(2) 茂住修史 飛騨の中世 8 (17・09) P 105 | 115
- 「三木直頼・同直弘蓮書状」と飛騨国河上荘の社会より 若林陵一 斐太紀 17 (17・10) P 12 | 17
- 神様となった男 広瀬屋清七郎(その一) 天明騒動指導者の生涯と決意 代情岑郎 濃飛の文化財 56 (17・03) P 35 | 40
- 神様となった男 広瀬屋清七郎(その二) 天明騒動指導者の生涯と決意 代情岑郎 濃飛の文化財 57 (18・03) P 49 | 54
- 天領飛騨の民衆と政治 第三章「安石代」成立の事情 尾崎啓介 斐太紀 17 (17・10) P 129 | 141
- 白衣の宰相鴻雪爪 清水進 維新の道 岐阜 36 (17・07) P 5 | 10
- 財界の世話役 郷誠之助 郷和彦 中山道加納宿 67 (16・04) P 12 | 14
- 原三溪の事跡(5) 尾関孝彦 中山道加納宿 68 (16・10) P 8 | 9
- ユダヤ人難民を救った最初の日本人 大垣ゆかりの樋口季一郎 鈴木隆雄 濃飛の文化財 56 (17・03) P 44 | 49
- 郷土史研究の先駆者 小川栄一翁について 長沼利治 濃飛の文化財 57 (18・03) P 61 | 65
- 淡路島金森長近の墓調査 田中彰 斐太紀 17 (17・10) P 26 | 33
- 小川栄一翁のこと 長沼利治 文化財のおの 80 (18・02) P 14 | 15
- 日記は語る北岡田家④ 歴代当主とその背景(下) 岡田雅義 文化財のおの 80 (18・02) P 18 | 19
- 所郁太郎と残された妻子の生涯(要旨) 加藤彰子 美濃の文化 137 (17・06) P 5 | 6
- 増山たづ子の意志を継ぐ館 野部博子 美濃の文化 139 (18・02) P 8 | 9
- 政治秩序にみる三好政権から織田政権への展開 天野忠幸 織豊期研究 19 (17・10) P 1 | 17
- 室町幕府・織田政権における細川藤孝の地位 尾下成敏 織豊期研究 19 (17・10) P 59 | 78
- 美濃加茂市民ミュージアム所蔵六月十二日付明智光秀書状 藤田達生 織豊期研究 19 (17・10) P 88 | 93
- 美濃加茂地域の自然災害と地名 鹿野

- 勘次 水谷敬 美濃加茂市民ミュージアム紀要 16 (17・03) P 1-15
水月亭について 寛真理子 伊奈波さん 29 (17・07) P 12-46
足元に横たわる『ふるさとの姿』各務原台地のまなざし 資料館だより (各務原市歴史民俗資料館) 35 (17・03) P 2-5
11年間をふりかえって (海津市(町)歴史民俗資料館) 海津市歴史民俗資料館報 16 (17・03) P 3
歴史文化遺産を次世代へ「かいつ風土記」の会活動レポート 水谷容子 海津市歴史民俗資料館報 17 (18・03) P 2-3
日記は語る北岡田家③ 歴代当主とその背景(中) 岡田雅義 文化財おの 79 (17・08) P 11-13
野村の近代遺産 野村文化財保存会 文化財おの 80 (18・02) P 10-13
壬申の乱が産んだ岐南町「薬師寺」物語 「地名文化財」と言えるか? 大竹庸元 濃飛の文化財 56 (17・03) P 89-93
元正天皇はこの水を飲んで若返ったのか(座談会「養老改元一三〇〇年祭を迎えて」) 美濃の文化 (17・06) P 2-4
田代神社の一七六年前の算額 大橋裕幸 養老町の文化財 146 (17・04) P 382-384
町内古道と石道標巡り(後の二) 高木吉一氏の案内で 椿井隆成 養老町
の文化財 147 (17・10) P 390-391
文学・戦記に見る関ヶ原町の河川 KISSO 103 (17・07) P 1-2
関ヶ原は東西流通の要所 KISSO 103 (17・07) P 3-4
大垣公園の石碑 横幕致 大垣市文化財報後協会会報 41 (17・06) P 16-19
濃州安八郡川並村大字小泉村輪中と水屋・小字地名を古地図から読む 説田武紀 美濃の文化 137 (17・06) P 7-8
乙原陣屋跡の調査と文化財標柱等 山為章 八幡町文化財協会会報 41 (16・12) P 3-5
乙原遠藤氏陣屋跡のこと 高橋教雄 八幡町文化財協会会報 42 (18・01) P 1-2
豊蔵資料館と久々利大萱の景観 沢田伊一郎 どのこいし 115 (18・01) P 9-11
歴史にバイブルはない(元禄検地の実態) 林格男 斐太紀 17 (17・10) P 116-128
山野村の村々の名 上平隆憲 斐太紀 17 (17・10) P 78-89
社会科学
映像作品に描かれた現代飛騨のイメージ 黒柳大造 斐太紀 17 (17・10) P 90-100
岐阜県大垣市における中心市街地活性化政策と岐阜経済大学まちなか共同研究室マイスター倶楽部の歩み 小川尚紀 地域経済 37 (18・03) P 51-62
ライブラリ、街の記憶、まち巡り ぎふメディアアコスモスの周辺 富樫幸一 自治研ぎふ 118 (17・06) P 4-18
長良川と街なかにみる水の循環と地域づくり 富樫幸一 自治研ぎふ 119 (17・12) P 2-9
岐阜市庁舎移転と街づくり 黒田隆志 東海地理 55 (18・03) P 1
共に生きる 3 日本耐酸塩工業株式会社 持続可能な社会へ ガラスびんは循環する資源 堤祐子 美濃の文化 138 (17・10) P 10-11
共に生きる OKB大垣共立銀行 地域に愛され、親しまれ、信頼される銀行 三矢昭夫 美濃の文化 137 (17・06) P 10-11
飛騨から見える、人手不足問題とその対策 十六総合研究所 経済月報 750 (18・02) P 2-9
人手不足に関する特別調査(岐阜県、愛知県) 日比野仁 経済月報 750 (18・02) P 10-15
岐阜市男女共同参画に関する市民意識調査(1) 単純集計結果 大藪千穂 「ほか」岐阜大学教育学部研究報告(人文科学) 66-2 (18・03) P 139-148
岐阜市男女共同参画に関する市民意識調査(2) 属性別意識分析 大藪千穂 「ほか」岐阜大学教育学部研究報告(人文科学) 66-2 (18・03) P 149-158
岐阜県における濃尾地震の被害実態に関する研究ノート 「震災誌附録一」と「震災死亡人台帳」の分析から 人見佐知子 小山真紀 岐阜大学地域科学部研究報告 41・42 (18・02) P 53-65
多胎育児支援の変遷と地域多胎ネットワークの意義 ぎふ多胎ネットワークの活動から 服部律子 「ほか」岐阜県立看護大学紀要 18-1 (18・03) P 125-133
近世から近代へ 近代の川島と学校の概要 資料館だより(各務原市歴史民俗資料館) 35 (17・03) P 6-9
岐阜県立郡上農林学校拓殖科の満州開拓体験実習について 馬淵曼修 郡上史談 153 (17・10) P 1-5
地域連携による繊維素材教育の実践 「羽島市」 太田幸一 岐阜市立女子短期大学研究紀要 67 (18・03) P 55-58
本校における地域と連携した学科専門教育の推進 岐阜農林高等学校 農業教育 55 (17・03) P 17-20
私立名和裁縫女学校の資料 加藤彰子 文化財おの 80 (18・02) P 17
天才的文化人 小野のお通と生涯学習へのゆめ 平田盛夫 濃飛の文化財 57 (18・03) P 40-43
成人未婚子の結婚観から家庭教育における家族を考える 岐阜県山県市の調査から 三輪聖子 岐阜女子大学紀要 47 (17・10) P 67-71

- 飛騨の仕事歌「うすひき歌」 堀尾雄
二 斐太紀 17 (17・10) P 34—42
だらりと「だらり餅」 小塩静夫 中
山道加納宿 69 (17・04) P 4—6
聞き取り 山家の足跡 (二) 竹原淑美
斐太紀 17 (17・10) P 171—192
保育施設で歌われている四季の歌 (東
濃地域における調査結果) 近江秀
崇・岡崎善治 ぎふ民俗音楽 113
(17・08) P 2—4
わらべうた備忘録 (二五) 久野壽彦 ぎ
ふ民俗音楽 113 (17・08) P 5—7
保育施設で取り扱われる楽器につい
て (東濃地域での実態調査) 近江秀
崇・岡崎善治 ぎふ民俗音楽 115
(18・02) P 5—7
飛騨獅子雑考 (その三) 元下義博 斐
太紀 17 (17・10) P 239—264
大垣藩主と大垣祭り 清水進 濃飛の
文化財 56 (17・03) P 12—15
「大垣祭りの軸行事」重要無形民俗文
化財について 浅野準一郎 濃飛の
文化財 56 (17・03) P 16—20
大垣まつりの車渡り物 浅野準一郎
濃飛の文化財 57 (18・03) P 44—
48
御嵩薬師祭礼の創始と縁起と祭事
鈴木富雄 濃飛の文化財 57 (18・
03) P 65—70
七間町の庚申さん「揖斐川町」 坪井
進 いびがわ文化財 44 (16・04)
P 3—4
自然科学
- 恵那市に分布する下部中新統岩村層群
から産出した巨大なイガイ属 (二枚
貝綱・イガイ科) の鑑定 栗原行人
太田数大 瑞浪市化石博物館研究
報告 44 (18・03) P 51—58
瑞浪北中学校敷地造成工事現場 (瑞浪
市土岐町) に露出した下部中新統瑞
浪層群明世層から産出した化石 安
藤佑介 瑞浪市化石博物館研究報告
44 特別号 (18・03) P 1—11
瑞浪北中学校敷地造成工事現場で観察
された中新統瑞浪層群の露頭 安藤
佑介 瑞浪市化石博物館研究報告
44 特別号 (18・03) P 1—11
瑞浪北中学校敷地造成工事現場で露
出した明世層中のエゾガイ密集部か
ら産出した貝類化石 安藤佑介 瑞
浪市化石博物館研究報告 44 特別号
(18・03) P 13—24
瑞浪北中学校敷地造成工事現場の下
部中新統瑞浪層群明世層から産出し
た化石フジツボ類 野村真一 瑞浪
市化石博物館研究報告 44 特別号
(18・03) P 25—30
瑞浪北中学校敷地造成工事現場の下部
中新統瑞浪層群明世層から産出した
硬骨魚類の耳石・歯化石 宮田真也
河野重範 安藤佑介 服部創紀
瑞浪市化石博物館研究報告 44 特別
号 (18・03) P 31—38
瑞浪北中学校敷地造成工事現場の下部
中新統明世層から産出した板鰈類化
石 高栗祐司 安藤佑介 瑞浪市化
石博物館研究報告 44 特別号 (18・
03) P 39—42
瑞浪北中学校敷地造成工事現場の下部
中新統瑞浪層群明世層よりヒゲクジ
ラ類化石 2 標本の産出 木村敏之
安藤佑介 安藤瑚奈美 楓達也 服
部創紀 村宮悠介 瑞浪市化石博物
館研究報告 44 特別号 (18・03) P
43—52
下部中新統瑞浪層群明世層山野内部層
から産出した花粉化石群集の花粉層
序学的位置 齊藤毅 今泉なつみ
瑞浪市化石博物館研究報告 44 特別
号 (18・03) P 53—62
フォトグラメトリを活用した瑞浪層
群明世層産二枚貝綱・イガイ科群体
の三次元的な産状再現 安藤佑介
藤原慎一 安藤瑚奈美 瑞浪市化
石博物館研究報告 44 特別号 (18・
03) P 63—70
岐阜県根尾川の中州における河畔林の
成立に関わる流域規模での要因 肥
後陸輝 西村奏穂 金正賢 木村正
信 岐阜大学地域科学部研究報告
41・42 (18・02) P 1—8
岐阜県におけるヒメカンアオイの変異
後藤稔治 岐阜県植物研究会誌 32
(16・12) P 1—4
岐阜県におけるキク科ニガナ属 (狭
義) 植物とその分布 高橋弘 岐阜
県植物研究会誌 32 (16・12) P 5
—11
岐阜県のイワカガミ属植物 高橋弘
岐阜県植物研究会誌 32 (16・12)
P 12—20
百年公園でオオバナイトタヌキモを確
認 清水英彦 岐阜県植物研究会誌
32 (16・12) P 21—23
瑞浪市に生息する陸産貝類と淡水産貝
類 川瀬基弘 市原俊 瑞浪市化石
博物館研究報告 44 (18・03) P 69
—81
ギフチョウの絵図について 飯田園昌
だんだらちよう 105 (17・09) P 5
—7
故森行春氏の標本箱より、気になるギ
フチョウ標本 水谷治雄 だんだら
ちよう 105 (17・09) P 21—24
岐阜県の農業排水路における優占魚種
の地理的分布 米倉竜次 岐阜県水
産研究所研究報告 63 (18・03) P
17—23
郡上でニホンカモシカとの出会い 神
田卓朗 篝火 147 (18・03) P 12—
13
岐阜県関市小屋名におけるニホンカモ
シカの記録 佐野めぐみ 籠橋数浩
説田健一 岐阜県博物館調査研究報
告 37 (17・03) P 3—4
走行サーベイによる岐阜県内の線量測
定—線量率評価法の検討— 山内
浩司「ほか」 岐阜医療科学大学紀
要 12 (18・03) P 25—34
ICTを活用した新しい健康指導の取
り組み (関市) 土屋雅義 自治研ぎ
ふ 119 (17・12) P 25—33
中津川市公立 2 病院の現状 吉村久資
自治研ぎふ 119 (17・12) P 20—24

工学・産業

- 絵図から見る揖斐川の歴史 竹中栄子
KISSO 104 (17・10) P 8—10
- 治水安全度の向上を目指す新丸山ダム
KISSO 105 (18・01) P 3—4
- 治水・利水の役割を担う松野ダムと
松野湖の環境保全 KISSO 106
(18・02) P 3—4
- 「飛鳥川用水之碑」への思い 栗田登
いびがわ文化財 45 (17・04) P 1—2
- 輪中と水防活動 安田守 東海地理
55 (18・03) P 9—10
- 大垣輪中館・輪中生活館とその活用
長澤均 濃飛の文化財 56 (17・03) P 76—81
- 江馬氏の城館について 馬場廣幸 飛
騨の中世 8 (17・09) P 59—67
- 武田流築城技法「三日月堀」を笠根
城にみる 田口勝 飛騨の中世 8
(17・09) P 68—74
- 松倉山中の築城遺構からみる松倉城
田口勝 斐太紀 17 (17・10) P 55—65
- 松倉城、高石垣は誰がつくったのか
(一) 金森説の検証・反論と新調査
結果の紹介 岩田修 斐太紀 17
(17・10) P 265—303
- 岐阜県南部における小水力発電ポテン
シャルの推定 河村隆雄 棚橋英樹
岐阜県情報技術研究所研究報告 18
(17・09) P 62—65
- 美濃焼ブランドの新たな付加価値開
発 (第二報) 小稲彩人 岐阜県セラ

ミックス研究所研究報告 17 (17・12) P 29—31

- 産業動向調査 刃物産業 高木安希子
経済月報 749 (18・01) P 14—17
- 信州と飛騨で活躍した大工について 1
三枝伊兵衛の巻 長瀬公昭 斐太紀
17 (17・10) P 216—238
- 美濃和紙を用いた機能性紙糸の開発
(第一報) 山内寿美 林浩司 佐藤
幸泰 山口穂高 岐阜県産業技術セ
ンター研究報告 11 (17・12) P 23—26
- 美濃和紙原料の高品質化のための栽
培・管理技術の開発 (第四報) 浅野
良直 佐藤幸泰 岐阜県産業技術セ
ンター研究報告 11 (17・12) P 53—55
- 美濃和紙原料の高品質化のための栽
培・管理技術の開発 (第五報) 浅野
良直 佐藤幸泰 岐阜県産業技術セ
ンター研究報告 11 (17・12) P 58—61
- 加納の和傘 昔と今 藤沢健一 中山
道加納宿 68 (16・10) P 4—6
- 県内資源からの清酒酵母の探索・育種
と醸造技術の開発 (第一報) 吉村明
浩 澤井美伯 正木和夫 岐阜県産
業技術センター研究報告 11 (17・12) P 39—41
- 岐阜県の水、米、酵母で造るぎふトッ
プブランド清酒の開発 (第三報) 澤
井美伯 吉村明浩 佐藤秀人 岐阜
県産業技術センター研究報告 11
(17・12) P 42—44

小地域産業連関表の作成と地域産業構

造 —平成23年大垣市産業連関表に

よる分析—野崎道哉 岐阜経済大

学論集 51—3 (18・03) P 37—48

岐阜県朝日村の満洲開拓 琿春朝日村

開拓団員の話を用いて 馬淵曼修

岐阜地理 60 (17・03) P 1—6

高鷺村の満洲開拓 (一) 琿春高鷺開拓

団員の話を用いて 馬淵曼修 濃

飛の文化財 56 (17・03) P 50—56

高鷺村の満洲開拓 (二) 琿春高鷺開拓

団員の話を用いて 馬淵曼修 濃

飛の文化財 57 (18・03) P 54—61

満洲勤労奉仕大隊 山田幸男 濃飛の

文化財 57 (18・03) P 97—101

モモ台木品種「ひだ国府紅しだれ」の

種子発芽率向上に関する研究 宮本

善秋 神尾真司 岐阜県中山間農業

研究所研究報告 12 (16・03) P 1—8

モモ品種「ひだ国府紅しだれ」の台木

特性に関する研究 宮本善秋 神尾

真司 浅野雄二 岐阜県中山間農業

研究所研究報告 12 (16・03) P 9—18

台木品種「ひだ国府紅しだれ」を使用

したモモの苗木生産に関する研究

宮本善秋 神尾真司 岐阜県中山間

農業研究所研究報告 12 (16・03) P 19—26

台木品種「ひだ国府紅しだれ」を用い

たモモの栽培技術に関する研究 宮

本善秋 神尾真司 岐阜県中山間農

業研究所研究報告 12 (16・03) P

27—32

山県市伊自良の柿渋づくり 西村寛良

濃飛の文化財 56 (17・03) P 61—70

養老公園、近隣都市公園の概要と管

理方法 日比一吉 農業教育 55
(17・03) P 33—36

留山御免の願ひ事と「鸛鶴籠中記」

船戸忠幸 濃飛の文化財 57 (18・03) P 36—40

飛騨地方の溪流におけるイワナおよび

ヤマメ・アマゴの産卵床の物理環境

岸大弼 徳原哲也 岐阜県水産研究

所研究報告 63 (18・03) P 1—6

錦織綱場の機能と形態 KISSO

105 (18・01) P 1—2

川島の渡船場と昔の街道 資料館だ

より (各務原市歴史民俗資料館) 36
(18・03) P 8—11

瑞浪市を通る中山道と大鰐宿・細久手

宿 KISSO 106 (18・02) P 1—2

美濃加茂市域を中心にした「飛騨街

道」 可児光生 渡辺祐子 美濃加

茂市民ミュージアム紀要 16 (17・03) P 34—53

地方小鉄道の消長とその背景 東濃

地方の諸例 原賢仁 岐阜地理 60
(17・03) P 7—28

インバウンドによる地域活性化に関

する研究 岐阜県大垣市及び西美濃

地域の観光振興を事例として 箕浦

之治 菊本舞 地域経済 37 (18・03) P 29—49

岐阜県の山岳ツーリズムの推進に向けて
統計から需要を探る 中村紘子
レポート(OKB総研) 167(17・
10) P 21—26

芸術・言語・文学

加藤栄三・東一記念美術館での26年間
を振り返って 熊崎勝利 博物館だ
より 980(18・02) P 2—3

高山市内、石灯籠などに穿たれた円形
穴の紹介 岩田修 濃飛の文化財
56(17・03) P 94—100

首無地蔵(延命地蔵) 松波民善 濃飛
の文化財 56(17・03) P 7—12

円空の彫刻芸術(2)——様式の分析と
編年 野村幸弘 岐阜大学教育学部
研究報告(人文科学) 66—1(17・
10) P 113—124

村瀬太乙作「桶底誤穿婦人図」につ
いて 船戸忠幸 濃飛の文化財 56
(17・03) P 41—43

印刷技術を用いた新規デバイスの開
発 栗田貴明 岐阜県産業技術セン
ター研究報告 11(17・12) P 15—
18

音楽史の中の「飛騨」武満徹作曲「精
霊の庭」、諸井誠作曲「竹林奇譚巻
之巻」「斐蛇以呂波」に着目して

黒柳大造 斐太紀 17(17・10) P
101—115

故郷 小津を尋ねる 白山神社の能面
五十川勇吉 いびがわ文化財 45
(17・04) P 4—6

長滝寺の能久留春桜 曾我孝司

郡上史談 154(18・02) P 3—6

美濃飛騨方言の境界 山田敏弘 岐阜
大学教育学部研究報告(人文科学)
66—2(18・03) P 9—18

小島烏水と飛騨との関り 親交があっ
た飛騨の岳人・文人のことなど 木
下喜代男 斐太紀 17(17・10) P
156—170

渡辺和郎の地方文芸活動について 桜
田幸世 美濃加茂市民ミュージアム
紀要 15(16・03) P 1—10

佐々木信綱書簡等を読み解く(続) 島
崎藤村と静子夫人の葉書と手紙(そ
の四) 大野博見 斐太紀 17(17・
10) P 193—215

東京で、新しい生活、新しい人びと
(岐阜市) 山田智彦「水中庭園」を
めぐって(二) 板橋和朗 美濃文学
96(17・09) P 36—39

諦めから期待へ、夏休みの生活(岐阜
市) 山田智彦「水中庭園」をめぐっ
て(三) 板橋和朗 美濃文学 97
(18・03) P 34—37